

森林資源をもっと身近に— 炭焼き体験会を開催

町と県木炭文化協議会の共催による炭焼き体験会が2月4日、白鷹町ふるさと森林公園の炭焼き窯で行われました。

この日は、町内外から約30人が参加し、ドラム缶窯を使った飾り炭作りや、1000℃近くまで熱せられた白炭窯からの炭出しなどを体験しました。さらに参加者たちは、自ら白炭窯から出した炭でみそ餅やマシュマロを焼き、冬の寒さの中に炭の温かさを感じながら談笑。また、「炭は脱臭効果もあるうえに品があるので、玄関やトイレなどに飾りたい」と竹炭や白炭を袋いっぱいを持ち帰る参加者の姿も見られました。



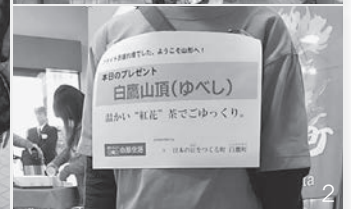
県民みんなで支える
森づくりシンボルマーク



1_顔を真っ赤にしながら炭出しをする子どもたち 2_ていねいに飾り炭づくりをする参加者 3_松ぼっくりやクルミのほか、紅花や折り鶴といった“変わり種”もきれいな炭になった

到着客を“お・も・て・な・し” おいしい山形空港で白鷹町をPR

“おいしい山形”の特産品を、空港に到着した皆さんにお届けする「おいしい山形空港 2016 冬のおいしいプレゼントキャンペーン」。2月11日、この企画に町観光協会と町職員が“おもてなし隊”として参加し、大阪伊丹、羽田、名古屋のそれぞれの空港からの到着客を迎えました。おもてなし隊は、紅花茶や白鷹銘菓「ゆべし」といった白鷹ならではのプレゼントや、町の各種パンフレット・チラシなどを配布しながら、観光や来春にシーズンを迎える白鷹の桜、町への移住をPR。「山形へそばを食べに来た」「銀山温泉へ向かう」という観光客に対し、「白鷹にもぜひ立ち寄ってください」と笑顔で呼びかけました。



1_移住のジャケットやTシャツを着てお出迎え 2_関西の方からは「ゆべしって何？」という声が多く聞かれた 3_寒い冬に温かい紅花茶は大好評

おにいさん、おねえさんよろしくお願ひします！ ひがしね保育園園児が小学生と交流

2月28日、ひがしね保育園園児（年長児23人）と東根小学校児童（5年生15人）の交流授業が東根小学校で行われました。

4月から1年生になる園児たちは、保育園と小学校の違いなどを次々と質問し、それに対して小学生はわかりやすくていねいに回答。年長児の鈴木沙那ちゃんは「みんなとても優しくった。早く小学生になって勉強をがんばりたい」と笑顔を見せ、5年生の船山天寧さんは「学校の良いところやすばらしい伝統など、いろんなことを優しく教えてあげたい」と微笑みました。



聞きたいことをたくさん考えてきた園児たち。しっかりと小学生の目を見て質問できた